

国指定名勝
柴田氏庭園



柴田氏庭園は江戸時代、当地の豪農である柴田
ごんえもん
権右衛門が、小浜藩主をもてなすために築いた庭園
です。

かんとうかん
「甘棠館」と名付けられた書院から庭園を眺めると、
のさかやま
敦賀富士とも称される野坂山の雄大な姿を望み、
四季折々の景色を楽しめます。

公開時間 午前10時から午後5時まで

休館日 毎週水曜日（水曜日が祝日の場合その翌日）
年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

入館料 [個人] 大人200円 中学生以下100円
[団体] 大人150円 中学生以下 50円
（団体は1回の入館者数が20人以上）
* 4歳未満の者、障がい者及びその介護者
（障がい者1人につき1人に限る。）については無料



詳しくは上の
QRコードから
ホームページへ
アクセス

甘棠館の由来となった「甘棠の愛」

かんとう

あい

甘棠は実を付ける樹木でズミ、ヤマナシとされていますが、柴田氏庭園ではヤマモモと伝わってきました。この木は中国古代の書「詩経」に出てくる詩「甘棠」で有名です。これは、「周の召公は国内をくまなく歩いて甘棠の下で人々の訴えを聴き、争いごとを裁いた。人々は召公の仁徳と善政を思い、その甘棠を惜しんで木を切らなかった」という詩で、ここから為政者に対する人々の敬愛を「甘棠の愛」と呼ぶようになりました。

柴田権右衛門は、小浜藩主をもてなす建物を「甘棠館」として、市野々村の開発に援助いただいている藩主に応え、また市野々村を治める庄屋としても、村民に慈愛の心を示したものと思われる。



柴田氏庭園の駐車場に
つるがシェアサイクルポートがあります！
敦賀駅から約3.7kmです。